

日本学術会議 薬学委員会
第 24 期・第 4 回 化学・物理系薬学分科会
議事要旨

日時 平成 30 年 11 月 21 日(水) 11:30~12:30
場所 日本学術会議 6 階 6-A 会議室 (1)
出席者 嶋田委員長、永次副委員長、佐治幹事、樋口幹事、井上委員、加藤委員、
上村委員、齋藤委員 (ウェブ参加)、徳山委員、長野委員、真鍋委員、山縣委員
欠席者 内山委員、尾野村委員、寺田委員
陪席 日本学術会議事務局

配布資料 第 24 期・第 3 回薬学委員会 化学・物理系薬学分科会 議事録
資料: 薬学委員会報告

議事

- (1) 前回の議事要旨の確認が行われ、一部の項目が削除された。
- (2) 薬学委員会の前の通常総会で、以下のようなことについて議論や報告があった。
 - (i) 旅費が出せなくなる問題が話し合われ、メール会議やビデオ会議を増やすことによって対処する提案がなされた。
 - (ii) 科学者委員会の中に 24 期に「ゲノム編集に関する分科会」が新設された。問題点が議論され 12 月 24 日に報告書が提出されることになっている。
 - (iii) 若手アカデミーの活動報告と今後の計画について、若手アカデミー代表から報告があった。
 - (iv) 分野横断的課題別の委員会の設置について
防災減災、SDG s、国際リニアコライダー計画の見直し案、人口縮小社会、認知障害に関する包括的検討、自動運転、大学教育の分野別質保証等に関する分野横断的課題別の委員会の設置を検討。
 - (vi) マスタープラン 2020 の提案に向けて
マスタープラン 2017 での重要提案はヒアリングなしに含めるが (キャリアオーバー)、それ以外は前回の結果をベースにせず今回はすべて新規に採択を検討。応募は 2019 年 2 月から開始し、締め切りは 3 月末の予定。
 - (vii) 各部会に男女参画を推進するための検討する場の設置を依頼
 - (viii) 日本学術会議創立 70 周年の企画の提案の依頼

- (3) 第 2 部会からの「子どもの放射線被ばくの影響と今後の課題」に関する報告が出されたところ

ろ、一般の方から放射線被曝に関する公開討論会（当初子供の放射線被曝に限った課題であった）を開催してほしいという要望があったことが報告され議論された。従来より報告を受けての公開討論会は行って来なかったこともあり、本件は提言として対応することとなった。

（４）メール会議を行うに当たって、どういうものが認められるかというメール会議の成立要件について、現在整備しているところであることが報告された。

（５）本分科会主催の次回のシンポジウムをどうするかについて発議された。その前にまず平成 30 年 11 月 21 日開催のシンポジウムについて総括が必要であるため、以下のことが提案された。

（i）座長の先生に講演に関するメモを残していただきそれを回すこととする。

（ii）スライドを残せるかどうかについて、嶋田先生が演者の先生に依頼していただく。

（６）次回の分科会については 2019 年 4 月末から連休明けぐらいをめどに日程調整することとした。

（７）長野委員から以下の点について問題提起・提案があり議論された。

（i）予算のない状況が何年も続いており、旅費も出ないとなると活動の活発化に水を差す。

これに対処するために本質的に考える必要がある。新しい委員会が次々にできていることも原因の一つである。テレビ会議で行うやり方もあるが、Skype に対処できていない委員もいる問題がある。対処の一つとして、費目を流用できるようにすれば改善するのではないか。

（ii）日本学術会議の提言については、最近は一つの意見としての扱いとなってきているので、これについての対応を今後考えていくことが必要である。

（８）シンポジウムに関する情報提供として、医療系薬学分科会では、11 月 20 日に「ビッグデータ」に関するシンポジウムを行い、来年度は「イメージング」に関するものを行う予定である。